4 人権教育部会		部会テーマ	日々の教育活動に生かす人権教育の実践		
内 容	人権が尊重される社会の実現に向け、学校教育や社会教育において実践された事例からその成果や課題を確認し、これからの人権教育推進の方向性について考える。				
指導助言者	県教委事務局総務課人権教育室	星 治	企画・会場係	総合教育センター	大越 真二
記 録 係	総合教育センター	田辺 剛	機 器 係	総合教育センター	斎藤雄一郎
機 器 係	総合教育センター	山崎 浩之	受 付 係	総合教育センター	小柳 真一

発表①

主体的に行動できる生徒の育成

～様々な不安に悩む生徒に寄り添い、語り合い、支えられる教師～

足利市立教育研究所

足利市立協和中学校 高沢 昌代

本校は、令和元年度～3年度に足利市教育委員会から人権教育研究学校の指定を受け、「個」の把握と「教師の寄り添う関わり」について実践的な研究を積み重ねてきた。日頃の教育実践を見直し、人権教育の視点で行った取組を発表する。

発表②

学校における清掃活動の実態と教育効果の再考

～「無言清掃」に対する教職員と生徒の意識調査から～

栃木市立藤岡第一中学校 湯本 さや

児童生徒による清掃活動は日本の学校教育における特色の一つと考えられているが、取り組み方は各学校によって大きく異なる。そこで、栃木県南部で実施されている「無言清掃」を取り上げ、実態の把握とその教育効果について、人権教育の視点も交えて再考を試みる。

発表③

現代社会における人権問題と指導の実際

～インターネットの問題とデジタル・シティズンシップ教育～

益子町立益子小学校 小森 大樹

インターネットは便利で楽しいコンテンツがある一方で、人権問題の温床にもなりうる。実際に掲示板やSNSに掲載されている書込みを分類し、差別的な書込みについての実態や背景について考察するとともに、ネット社会を生きていく子どもたちにとって必要な「デジタル・シティズンシップ教育」の実践を紹介する。

指導助言

県教委事務局総務課人権教育室 星 治